

東京都公報

発行
東京都

目次

規則

○東京都重度心身障害者手当条例施行規則の一部を改正する規則……………
……（福祉局障害者施策推進部施設サービス支援課）…

告示

○都市計画事業の認可……………
……（都市整備局都市基盤部街路計画課）…
○市街地再開発組合の事業計画の変更認可……………
……（都市整備局市街地整備部再開発課）…

告示（教）

○指定納付受託者の指定……………
……（政策企画局総務部秘書課）…
○東京都功労者表彰……………（政策企画局総務部秘書課）…
○東京都名誉都民に選定した者の事績……………
……（生活文化局文化振興部企画調整課）…

規則

東京都重度心身障害者手当条例施行規則の一部を改正する規則を公布する。

令和七年十月一日

東京都知事 小 池 百合子

●東京都規則第百五十九号

東京都重度心身障害者手当条例施行規則の一部を改正する規則

東京都重度心身障害者手当条例施行規則（昭和四十八年東京都規則第百四十一号）の一部を次のように改正する。

第三条中「三百六十万四千元」を「三百六十六万一千円」に改める。

附則

1 この規則は、令和七年十一月一日から施行する。

2 この規則による改正後の東京都重度心身障害者手当条例施行規則第三条の規定は、令和七年十一月以後の月分の重度心身障害者手当の支給について適用し、同年十月以前の月分の重度心身障害者手当の支給については、なお従前の例による。

告示

●東京都告示第百五十一号

都市計画法（昭和四十三年法律第百号）第五十九条第一項の規定に基づき町田都市計画道路事業を認可したので、同法第六十二条第一項の規定により、次のように告示する。

令和七年十月一日

東京都知事 小 池 百合子

一 施行者の名称 町田市

二 都市計画事業の種類及び名称 町田都市計画道路事業三・四・三十三号本町田金森線

三 事業施行期間 令和七年十月一日から令和十四年三月三十一日まで

四 事業地

収用の部分

町田市南大谷一丁目、南大谷二丁目、南大谷四丁目、南大谷六丁目及び高ヶ坂四丁目各地下

使用の部分

町田市南大谷一丁目及び南大谷六丁目各地下

●東京都告示第百五十二号

都市再開発法（昭和四十四年法律第三十八号）第三十八条第一項の規定に基づき南池袋二丁目C地区市街地再開発組合の事業計画の変更を認可したので、同条第二項において準用する同法第十九条第一項の規定により、次のように告示する。

令和七年十月一日

東京都知事 小 池 百合子

一 組合の名称

南池袋二丁目C地区市街地再開発組合

二 事業施行期間

令和二年三月十三日から令和十年三月三十一日まで

三 施行地区

豊島区南池袋二丁目地内

四 事務所の所在地及び設立認可の年月日

豊島区南池袋二丁目八番三号

令和二年三月十三日

五 事業計画の変更の認可の年月日

令和七年十月一日

告示（教）

●東京都教育委員会告示第三十六号

地方自治法（昭和二十二年法律第六十七号）第二百三十一条の二の三第一項に規定する指定納付受託者を次のとおり指定したので、東京都会計事務規則（昭和三十九年東京都規則第八十八号）第三十七条の三の規定により告示する。

令和七年十月一日

東京都教育委員会

一 指定納付受託者の名称及び所在地

三菱総研DCS株式会社

東京都港区三田三丁目五番十九号

二 指定納付受託者に納付させる歳入の内容

東京都立学校の授業料等徴収条例（昭和二十二年東京都条例第九十一号）第二条第一項第三号イ、ロ及びニに規定する入学考査料のうち、インターネット上の出願サイトを利用して納付されるもの

三 指定日

令和七年十月一日

公 告

東京都功労者表彰について

東京都表彰規則（昭和四十七年東京都規則第一百七十四号）第二条の規定に基づき、令和七年十月一日に表彰される方は、次のとおりである。

令和七年十月一日

東京都知事 小 池 百合子

氏名又は団体名	現住所又は所在地	今井 要一	台東区	笠原 清子	足立区
[地域活動功労者]	次の方々は地域の振興に尽力され、特に優れた業績をあげられました。	上野 博巳	練馬区	上村 和雄	品川区
		江口 耕司	立川市	川越 誠一 (かわごえ 誠一)	葛飾区
		太田 義久	足立区	川野邊 次男	中野区
		大瀧 一彦	立川市	神田 功	日の出町
渋谷中央街パトリール隊	渋谷区	大谷 和美	墨田区	串田 金八	福生市
自由が丘商店街振興組合	目黒区	大塚 政雄	日野市	熊倉 健二	台東区
築地警察署管内ビル防犯連合会	中央区	大和田 劭	杉並区	河野 義男	品川区
秋間 洋 (あきま 洋)	台東区	岡崎 千治	渋谷区	齊藤 武	立川市
浅田 保雄	文京区	岡庭 茂行	世田谷区	佐伯 利昭	中野区
浅見 幹夫	新宿区	小川 宏美 (小川 ひろみ)	国立市	佐藤 昇	目黒区
荒木 隆一	葛飾区	小川 隆司	品川区	柴山 年	北区
安藤 泰作 (安藤 たい作)	品川区	尾寄 敏夫	八王子市	澁谷 武己	町田市
石崎 明	三鷹市	小澤 一平	北区	鈴木 喜代志	世田谷区
伊藤 英男	中野区	小俣 則子	江戸川区	高橋 誠	昭島市
今井 完	荒川区	笠井 清純	港区	高山 晃一	武蔵村山市

竹内 忠雄	北区	西山 茂	八王子市	柳澤 信司	福生市
田中 敏夫	練馬区	野口 政行	葛飾区	矢野 裕	狛江市
田中 靖一	大田区	野尻 信江	新宿区	山田 和男	新宿区
田中 康智 （田中 やすのり）	板橋区	能勢 方子	武蔵野市	山本 幸男	大田区
谷口 敏子	大田区	野原 純一	稲城市	湯川 貴子 （長谷川 たかこ）	足立区
谷口 敏也	三鷹市	長谷川 隆	文京区	吉澤 文子	千代田区
槻木 克美	杉並区	濱田 捷利	中央区	吉本 孝良	八王子市
露木 保文	板橋区	林 孝明	墨田区	渡部 恵子	中央区
出口 蓮子	稲城市	昼間 守仁	小金井市	[消防・災害対策功労者]	
戸田 敏之	板橋区	藤井 正人	江戸川区	次の方々は地域消防の発展と防災意識の高揚に尽力され、特に優れた業績をあげられました。	
富澤 伸一	三鷹市	前川 浩子	府中市		
鳥飼 秀夫	荒川区	松下 幸博	江戸川区	八丈町消防団	八丈島八丈町
中村 英次	江東区	松原 秀典	大田区	光が丘消防団	練馬区
中村 徹	江戸川区	丸田 絵美	調布市	秋田 富美恵	北区
南條 勲夫	中央区	森 快子	武蔵野市	飯田 恒	江戸川区
二島 豊司	港区	森井 郁夫	大田区	飯野 久寿	北区

池和田 芳信	立川市	千葉 治夫	板橋区	清水 和雄	新宿区
大槻 明彦	世田谷区	松前 光亮	中野区	瀬下 裕子	江東区
小川 美枝子	町田市	[税務功労者]		高木 邦男	目黒区
沖山 孝明	三宅島三宅村	次の方々は納税意識の高揚に尽力され、特に優れた業績をあげられました。		高橋 宏幸	品川区
小栗 正彦	中央区			田中 健次	杉並区
神野 武久	葛飾区	浅見 哲	府中市	野口 富次郎	足立区
小泉 藤夫	多摩市	伊東 克朗	新宿区	野村 要子	豊島区
小嶋 健太	日の出町	稲葉 秀一	茨城県取手市	吉田 政美	墨田区
小島 広明	東村山市	内堀 満	練馬区	[福祉・医療・衛生功労者]	
小林 克太郎	中野区	加藤 三千夫	江戸川区	次の方々は社会福祉と保健衛生の向上に尽力され、特に優れた業績をあげられました。	
小林 宗晴	羽村市	狩野 智雄	北区		
澤村 紀一郎	中央区	木目田 賢市	町田市	梅若会	墨田区
塩野 均	練馬区	清宮 仁	八王子市	シニアクラブおざく台西	羽村市
荘司 洋行	江東区	吉良 明彦	世田谷区	南六さくらクラブ	豊島区
高橋 通	台東区	佐久間 日出子	練馬区	浅利 晋	調布市
田中 清輝	荒川区	佐藤 光男	大田区	荒井 隆夫	小平市

井瀬 明夫	文京区	坂元 啓一	葛飾区	林 健博	豊島区
板橋 榮子	福生市	佐藤 和義	足立区	松江 一彦	江東区
伊東 祐太郎	府中市	佐山 茂吉	墨田区	三浦 啓一	台東区
岩間 一夫	北区	篠遠 彰	板橋区	靱木 伊津穂	大田区
臼田 準	千代田区	島田 健吾	目黒区	湯澤 伸好	墨田区
内田 千恵子	練馬区	清水 誠治	港区	横井 伸洋	荒川区
小川 清史	埼玉県桶川市	白根 郁代	神奈川県横浜市	米山 正勝	江戸川区
小野 稔	大田区	菅野 忠	埼玉県新座市	[環境功労者]	
片岡 弥恵子	神奈川県川崎市	杉山 行利	府中市	次の方々は自然環境の保全と都市環境の改善に尽力され、特に優れた業績をあげられました。	
加藤 章雄	あきる野市	鈴木 博	豊島区		
金井 和宏	世田谷区	田島 秀樹	港区	井上 正道	小平市
北川 太郎	江戸川区	知念 俊昭	西東京市	上野 淳一	江東区
小坂 智弘	多摩市	塚原 俊夫	目黒区	野中 英樹	足立区
越川 裕樹	渋谷区	塚本 定代	八王子市	原島 和敏	昭島市
小島 克彦	羽村市	羽田 雅夫	世田谷区	森 雅裕	台東区
近藤 敏栄	渋谷区	服部 和美	世田谷区		
[教育功労者]		村田 幸秀	練馬区	新宿区なぎなた連盟	新宿区
次の方々は教育の振興に尽力され、特に優れた業績をあげられました。		山内 雅昭	神奈川県大和市	杉並区スポーツ・レクリエーション協会	杉並区
		[文化功労者]		調布市弓道連盟	調布市
荒川 進	東大和市	次の方々は文化の振興に尽力され、特に優れた業績をあげられました。		(特非)立川市陸上競技協会	立川市
石阪 恒子	多摩市			日本ハンドサッカー協会東京支部	府中市
市川 正芳	八王子市	谷保天満宮獅子舞保存会	国立市	練馬区空手道連盟	練馬区
小田原 克行	板橋区	春日 實	板橋区	東村山市テニス連盟	東村山市
紙尾 康彦	大田区	鏑本 和子 (鏑本 藤嘉津)	荒川区	岩田 崇江	神奈川県横浜市
北野 大	足立区	富本 眞澄	日野市	加藤 勝一	豊島区
來間 克己	八王子市	溝口 重郎	あきる野市	神田 隆弘	新宿区
鈴木 清一	神奈川県相模原市	[スポーツ振興功労者]		坂口 千年	立川市
富田 めぐみ	杉並区	次の方々はスポーツの振興に尽力され、特に優れた業績をあげられました。		島野 博幸	小平市
野口 勝	日の出町			志村 雅	練馬区
濱川 喜亘	あきる野市	大田区民踊連盟	大田区	鈴木 克也	東村山市
増山 幸子	葛飾区	K I Tクラブ21	足立区	敕使河原 麻美	日の出町
村瀬 光一	江戸川区	品川区ソフトテニス連盟	品川区	中村 貞夫	神奈川県横浜市

5 令和7年10月1日（水曜日）		東 京 都 公 報		(第18399号)		
長山 裕子	狛江市	瀬谷 友昭	埼玉県草加市	熊沢 豊	台東区	
比護 隆一	千葉県千葉市	武知 絹子	江戸川区	興石 泰彦	足立区	
山本 弘	東大和市	中村 愛	世田谷区	小島 公平	渋谷区	
山本 博	世田谷区	古谷 秀夫	千葉県野田市	小島 寿之	文京区	
渡辺 真也	三鷹市	村上 勝	神奈川県横浜市	近藤 藤嗣	大田区	
[労働精励者]		村瀬 太一	江戸川区	勝田 芳子	八王子市	
次の方々は職務に精励され、特に優れた業績をあげられました。		本野 祐一	練馬区	数藤 謙	品川区	
		森 俊	千葉縣市川市	竹内 博次	日野市	
有本 大作	埼玉県川口市	[産業振興功労者]		千田 清二	千葉県八千代市	
岩崎 和夫	東村山市	次の方々は産業の振興に尽力され、特に優れた業績をあげられました。		豊口 敏之	八王子市	
大澤 清一郎	目黒区			中川 雅雄	世田谷区	
大場 誠	埼玉県川口市	石井 敬一郎	品川区	西川 聡	大田区	
加藤 芳昭	目黒区	井上 弘之	杉並区	橋本 唱一	中野区	
古賀 達也	神奈川県川崎市	牛込 友喜	大田区	蓮井 康二	神奈川県横浜市	
柴田 守	多摩市	加賀谷 哲男	中野区	服部 公雄	文京区	
杉浦 範生	練馬区	川田 進	台東区	平野 正延	あきる野市	
細貝 淳一	大田区	[技術振興功労者]				
松村 博文	あきる野市	次の方々は技術の振興に尽力され、特に優れた業績をあげられました。				
村山 吉三郎	調布市					
[都市づくり功労者]		小澤 一雅	世田谷区			
次の方々は都市づくりの推進に尽力され、特に優れた業績をあげられました。		谷口 淳	茨城県取手市			
		中村 健太郎	町田市			
櫛田 仁	台東区	中山 靖茂	板橋区			
蔵元 学	神奈川県横浜市	前多 宏信	渋谷区			
小峰 一良	あきる野市	[善行者]				
戸田 高廣	武蔵野市	次の方々は献身的行為により、特に優れた業績をあげられました。				
鳥越 雅人	千葉県柏市					
中島 新吾	埼玉県川口市	浦川 秀敏	足立区			
松崎 信義	千葉縣市川市	渡邊 操	江東区			
松村 一	東久留米市					

東京都名誉都民に選定した者の事績について

東京都名誉都民条例（昭和二十七年東京都条例第七十六号）第三条の規定に基づき、令和七年十月一日に新たに東京都名誉都民に選定した者の事績は、次のとおりである。

令和七年十月一日

東京都知事 小 池 百合子
東京都世田谷区

草 笛 光 子
（本名 栗田 光子）

昭和八年十月二十二日、神奈川県に生まれる。

昭和二十五年、松竹歌劇団に入団する。

昭和二十八年、「純潔革命」で初めての映画出演を果たす。

昭和三十三年から昭和三十五年まで、音楽バラエティ番組「光子の窓」で司会を務める。

昭和三十四年、舞台「火刑台上のジャンヌ・ダルク」に出演する。

昭和四十四年、舞台「ラ・マンチャの男」日本初演に出演する。

昭和四十八年、舞台「王様と私」に出演する。

昭和五十一年、横溝正史の小説を原作とした市川崑監督の映画「犬神家の一族」に出演する。

昭和五十六年、舞台「光の彼方に ONLY ONE」で第三十六回文化庁芸術祭賞優秀賞を受賞する。

昭和五十八年、舞台「シカゴ」日本初演のロキシー役で第三十八回文化庁芸術祭賞優秀賞を受賞する。

平成四年、舞台「私はシャーリー・ヴァレンタイン」で

第四十七回文化庁芸術祭賞を受賞する。

平成十一年、紫綬褒章を受章する。

平成十七年、旭日小綬章を受章する。

平成二十五年、舞台「ロスト・イン・ヨンカーズ」のミセス・カーニッツ役で第四十八回紀伊國屋演劇賞個人賞を受賞する。

平成二十八年、NHK大河ドラマ「真田丸」で主人公真田信繁の祖母役を務める。

平成三十年、舞台「新・六週間のダンスレッスン」で第二十六回読売演劇大賞優秀女優賞を受賞し、通算上演回数が二百回に達した。

令和三年、映画「老後の資金がありません！」に出演し、第四十五回日本アカデミー賞優秀助演女優賞及び会長功労賞を受賞する。

令和四年、NHK大河ドラマ通算十一作品目となる「鎌倉殿の十三人」に出演する。

令和五年、著書「草笛光子九十歳のクロゼット」を発売する。

令和六年、映画「九十歳。何がめでたい」にて初の単独主演を務め、第四十八回日本アカデミー賞優秀主演女優賞を受賞する。

同年、文化功労者として顕彰される。

氏は、長きにわたり舞台・映画・テレビドラマと多方面で活躍し、その数々の作品と感情豊かな演技は、多くの人々を魅了してきた。

また、日本のミュージカル界の草分け的存在としてその発展に貢献した功績は多大であり、今なお第一線で活躍を続けるその姿は、人々に希望や活力を与え、広く都民が敬

愛し、誇りとするところである。

東京都渋谷区

戸 田 奈津子

昭和十一年七月三日、福岡県に生まれ、一歳で東京府（現東京都）に移り住む。

昭和三十三年、津田塾大学文学部英文学科（現英語英文学科）を卒業し、第一生命保険相互会社（現第一生命保険株式会社）で秘書室に配属される。英米映画字幕の先駆者である清水俊二氏に手紙を送り、字幕翻訳の門戸を叩く。

昭和三十四年、会社員を辞め、フリーランスで英文執筆や英文翻訳の仕事が始める。

昭和四十五年、映画「アリスのレストラン」のプロデューサーであるヒラード・エルキンズの通訳を務める。以降、通訳としての仕事も行う。

同年、フランソワ・トリュフォー監督の映画「野生の少年」の字幕翻訳を行う。これが初めての映画の字幕翻訳の仕事になる。

昭和五十五年、フランシス・フォード・コッポラ監督の推薦により、映画「地獄の黙示録」で本格的に字幕翻訳家としてデビューする。

昭和五十七年、ステイブ・スピルバーグ監督の映画「E.T.」の字幕翻訳を行う。

平成四年、第一回淀川長治賞を受賞する。

平成七年、映画翻訳家協会会長に就任する。

平成八年、トム・クルーズ主演の映画「ミッション・インポッシブル」の字幕翻訳を行う。

平成九年、ジェームズ・キャメロン監督の映画「タイタ

ニック」の字幕翻訳を行う。

平成十五年、文化庁長官表彰を受ける。

平成二十三年、神田外語大学の客員教授に就任する。

平成二十七年、第三十六回松尾芸能賞特別賞を受賞する。

平成二十八年、第七回岩谷時子賞特別賞を受賞する。

同年、第三十四回川喜多賞を受賞する。

令和二年、日本映画ペンクラブ賞特別功労賞を受賞する。

令和三年、第四十五回日本アカデミー賞会長功労賞を受賞する。

令和七年、旭日小綬章を受章する。

氏は、字幕翻訳家になるという夢のために奔走し、四十三歳で本格的なデビューを果たしてから、数々の作品の字幕翻訳を通して、長きにわたり多くの人々に海外映画の魅力を伝えてきた。

また、ハリウッドスターなどの通訳も務め、日本と海外の架け橋としての役割を担ってきた。

未知の分野を切り拓き、今なお精力的に活動が続けるその姿は、人々に希望や活力を与え、広く都民が敬愛し、誇りとするところである。

東京都杉並区

三村 明夫

昭和十五年十一月二日、群馬県に生まれる。

昭和三十四年、東京大学に入学する。在学中は小宮隆太郎氏のゼミナールに所属し、卒業式では経済学部卒業生総代を務める。

昭和三十八年、富士製鐵株式会社（現日本製鐵株式会社）に入社する。

昭和四十七年、ハーバード大学大学院ビジネススクール

を卒業する。

昭和六十年、新日本製鐵株式会社（現日本製鐵株式会社）経営企画部長代理に就任。取締役で構成されたスチール・ブランニング・コミッティーの事務局トップを務め、円高を乗り越えるための全社最適の合理化計画をとりまとめる。

平成元年、新日本製鐵株式会社自動車鋼板販売部長に就任し、鋼材の値上げ価格交渉に取り組む。

平成十二年、新日本製鐵株式会社代表取締役副社長に就任し、当時欧州最大の鉄鋼メーカーであったユジノール（現アルセロール・ミタル）との戦略提携を進める。

平成十五年、新日本製鐵株式会社代表取締役社長に就任し、国内外の製鐵会社との関係を深める「ソフトウェア・ス」戦略を進める。

平成二十年、新日本製鐵株式会社代表取締役会長に就任し、住友金属工業株式会社との合併を進める。

平成二十三年、総合資源エネルギー調査会・基本問題委員会委員長を務める。

平成二十四年、日豪経済委員会会長としての日豪貿易・経済関係の発展への貢献等が評価され、オーストラリア政府よりオナラリー・コンパニオン勲章を受章する。

同年、豪州国立大学より名誉博士（科学）号が授与される。

平成二十五年、東京商工会議所及び日本商工会議所の会頭に就任し、中小企業の活性化に尽力する。

平成三十一年、日本製鐵株式会社社友名誉会長に就任する。

令和五年、一般社団法人日本原子力産業協会会長に就任

する。

令和六年、鉄鋼業界と日本経済の発展への貢献が評価され、旭日大綬章を受章する。

氏は、長年にわたり、鉄鋼業界の発展に寄与し、日本の産業基盤の強化に貢献してきた。

また、日本商工会議所・東京商工会議所の会頭として、中小企業の活性化をはじめとする、地域創生やエネルギー関連など幅広い政策提言・推進に尽力し、第一線で活躍してきた。

現在も人口減少問題に精力的に取り組むなど、氏の功績は多大であり、高い志を持ち、日本社会に貢献し続けるその姿は、広く都民が敬愛し、誇りとするところである。

発行

東京都
東京都新宿区西新宿二丁目八番一
号
電話 〇三(五三二)一一一一(代)

郵便番号
163-8001

定価

本号
一箇月 六、六〇〇円
三〇円
(郵送料を含む)

印刷所

勝美印刷株式会社
東京都文京区白山二丁目十三番七号
電話 〇三(三八二)五二〇一(代)

郵便番号
113-0001

